

辰巳天中殺の人同士の人間関係

同じ天中殺同士のような場合は、気心がわかり、心安まる関係なのです。同じ質、同じ波長といったものをもっていますから、説明なしで解り合えるものがあるのです。

しかし、他の天中殺同士の相性とちょっと違うのが辰巳天中殺同士です。

辰巳天中殺同士の組み合わせが、共に人生を歩もうとすると、たいへんに運の振幅がはげしくなります。

もともと、激しい気質で、思い通りに突っ走りたいという辰巳天中殺です。その星が重なるのですから、その現象に拍車がかかって、とうてい、安定とおだやかといった運は望めなくなります。(それは、どうしても波瀾の多い歩みが宿命づけられてしまいます。)

たとえば、男性同士の場合、いい関係のときは素晴らしい勢いで伸びるけれど、いったんこじれると、それこそ、どうしようもない程の波瀾の組み合わせですし、一緒にパートナーを組んで仕事をする場合でも、伸びるときはぐんぐん伸びるけれど、落ちるときはまたすごい勢いで転落をするという中殺の宿命が、この二人には現われて来るのです。

女性の場合でも、たとえば辰巳天中殺の女性が「女同士でお店でもやりたいわ」と言ったとしましょう。

それにパッととびついたのが、同じ辰巳天中殺の女性。

こうなると、もともと、ツーと言えば、カーという間柄の二人ですから、話しはどんどんエンスカレートして「こうしたほうがいい」「いや、こういう話しもある」という具合に、夢だけがどんどん広がってしまっ、いっこうに現実に実りが結ばれないという結果になってしまいがちです。

また、かりに、うまく商売でもなんでもスタートさせたとしても、良いときはそれこそウハウハ……というくらい儲かるけれど、また、一つつまづくと、そこから急激な勢いで失敗の谷まへ落ち込んでいくような安定のない連続になってしまいます。

それこそ、億万長者から乞食までの激しい振幅で運が揺れるのがこの組み合わせです。

このように、辰巳天中殺同士の組み合わせには「中庸」という状態が生れにくいのです。

友人や同僚ぐらいならともかく、一般的に影響力の強い上司・親・夫婦・恋人といった関係ですと、良い関係とは言にくいでしょう。

しかし、夫婦の場合は、子供の数が多ければ、不思議にバランスがとれていくものです。大家族のエネルギーに助けられる形なのです。

